

令和2年度認定 (No. 9 1)

# 農業名人

ブルーベリー栽培名人 そや ひろし  
征矢 博

昭和29年生まれ 南箕輪村在住

～1圃場に1品種～



昭和57年、会社勤めの傍ら27歳のときに知人からの紹介でブルーベリーの栽培を始めた。

当時はブルーベリーを栽培する農家が少なく、まずは10アールの圃場で始めた。3年目に初めての収穫、その後独自で研究と試行錯誤を重ねながら栽培面積を拡大し、現在は30アールの圃場に800本のブルーベリーを栽培している。

ブルーベリーの収穫期は、6月下旬から8月中旬。その時期はお手伝いをお願いして、およそ2,300キログラムのブルーベリーを収穫、出荷している。

栽培を始めた当時は、まだ十分な栽培方法が確立されておらず、当時の技術指導では作業に負担がかかる一方だったため、独自に苗の畝間を広げることを考案し、その結果大幅に作業効率を上げることに成功した。

ブルーベリーの品種を変えるときは、必ず自分の圃場の一部で試すことを徹底することにより、その圃場に合ったブルーベリーを見つけることができ、その結果失敗しない栽培に繋がった。またこれまで、千本以上の接ぎ木を行い、その技術も卓越している。

平成10年ころには、テレビ番組の影響でブルーベリーブームが到来。ブルーベリーの良さが広く世間に知られるようになり需要も伸びた。

現在は、主力の品種を2種類に抑え、「1圃場に1品種の栽培」と品種をまとめている。これにより、圃場毎に実のなる時期を管理でき、経営の安定とさらなる効率化へと結び付いた。



今後も、40年の経験と実績で培った栽培技術を同じ農業者へ伝承する役割を担いながら、村におけるブルーベリー栽培の第一人者として、自身のますますの活躍が期待されている。